

倉敷国際ふれあい広場 2025 衛生管理および環境配慮に関する要領

1. 本要領の目的

このお知らせは、倉敷国際ふれあい広場 2025 で「世界の料理屋台」を出すときに、食べ物をきれいにすることと、地球にやさしくすることの大切なルールを伝えるものです。

2. 食品衛生

- (1) 食べ物の材料は、きれいな箱や袋に入れてください。冷たくしておく必要がある材料は、料理する直前まで、冷蔵庫や冷やすものを入れた箱に入れて、いつも 10℃（ど）より低くしてください。
- (2) イベントの日の朝 9 時 30 分か、お店を開ける直前に、「世界の料理屋台本部（ほんぶ）」の人が、みなさんのメニュー（味の違うものも含む）を安全かどうか調べるために、50 グラムだけもらいます。2 週間冷凍（れいとう）します。このために、食べ物を少しだけください。
- (3) 料理を始める前には、料理に使う道具を必ずきれいに洗って消毒（しょうどく）してください。また、材料がおかしくないか少し食べてみるなどして、安全に十分に気を付けてください。
- (4) 出すメニューは、料理が簡単（かんたん）で、お客さんに出す前にしっかり火を通すものにしてください。
 - ① ご飯は屋台に来る前に作ったものを出してもいいです。でも、売る前に「世界の料理屋台本部」の人に言って、ご飯をどのように置いているか見てもらい、「売っても良い」と言ってもらってください。
 - ② デザートやジュース、お菓子（かし）は、お店の人が火を通さなくても出せます。でも、それらは工場で作られたものにしてください。（事前に実行委員会が良いと言ったものは、大丈夫です。）
- (5) お店を開けた後は、時々食べ物を少しだけ食べて、味やにおいにおかしいところがないか確認してください。
- (6) お客さんに食べ物を出すときは、太陽の光や雨から食べ物を守ってください。お客さんに料理を渡す人と、お金をもらう人を別の人がやってください。
- (7) 食べ物をきれいに保つことをとても大切にしてください。しょっちゅう手を洗ったり、手の消毒（しょうどく）をしたりしてください。テントの中で手を洗うための水（40 リットルくらい）を、タンクなどに入れて用意してください。
- (8) 手袋（てぶくろ）、マスク、三角巾（さんかくきん。髪が落ちないように頭につけるバンダナ）、エプロンなどをちゃんとつけてください。手などが食べ物に触（ふ）れるのを防（ふせ）いでください。手袋は、違う食べ物を触るときは、違う手袋を使ってください。
- (9) 事前に教えてくれたメニュー以外は、売ることはできません。
- (10) 売った食べ物は、イベントの場所の中で食べてもらってください。持って帰ることはできません。
- (11) 体の調子が悪いと感じたら、すぐに料理するのをやめて、必ず「世界の料理屋台本部」の人に教えてください。

3. 環境配慮

- (1) お店を出して出たゴミは、燃（も）えるゴミと燃えないゴミ（金属（きんぞく）、ビンなど）に分けて、お店の人が友好の広場東側まで持ってきてください。
- (2) 実行委員会が用意するゴミ箱は、お客さんが使うものです。お店の人は捨ててはいけません。
- (3) 揚げ物（あげもの）を料理するときは、お店の人が熱に強いシートなどを準備して使ってください。火事にならないように、そして道具が壊（こわ）れないように気を付けてください。
- (4) 料理で使った汚（よご）れた水は、決められた場所に流してください。お店の人はザルなどを用意して、食べ物の残りカスなどが流れていかないようにしてください。